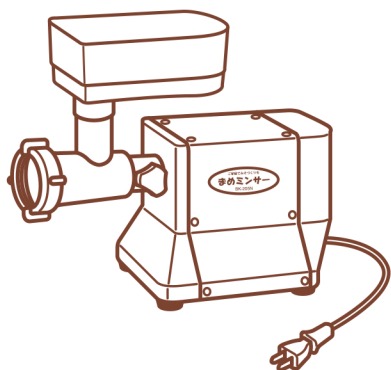


# まめミンサー BK-205N



## 取扱説明書

- このたびは「まめミンサー」をお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を正しくお使いいただくために使用する前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、充分理解した上でご使用くださいますようお願いいたします。
- お読みになった後は必ず保管してください。
- 7ページに添付している保証書は、必ず「販売店名・お買上げ日」等の記入をお確かめになり、大切に保存してください。

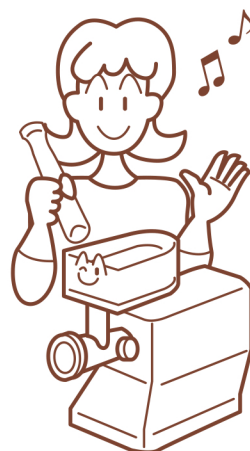


### 特 長

- 1 大きなパワーで大量処理
- 2 音が静かなサイレントタイプ
- 3 場所を選ばない省スペース設計
- 4 みそ・まめ専用4.8mm薄型プレート標準装備
- 5 一度にたくさんひける豆ホッパー付
- 6 切れ味・耐久性抜群のナイフ・プレート

### もくじ

安全上のご注意	1~2
各部のなまえ	3
仕様	3
上手にお使いいただくために	3
お使いになる前に	4
セットのしかた	4
正しい使い方	5
お手入れのしかた	5
修理サービスを依頼する前に	6
保証書	7
アフターサービス	7



# 安全上のご注意

■この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。



**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



**注意**

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、\*物的損害の発生が想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## 図記号の例



感電注意

△は、注意(警告を含む)を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「感電注意」を示します。



分解禁止

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解禁止」を示します。



プラグを抜く

●は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

## 警告

修理技術者以外は、絶対に分解したり修理は行わないこと

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



分解禁止

水につけたり、水をかけたりしないこと

ショート・感電の恐れがあります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと

やけど・感電・けがをすることがあります。



接触禁止

運転中は本体やプレートの中には指を入れないこと

けがをすることがあります。

## 注意

部品の取付け、取外し及びお手入れするときは、スイッチを切り電源プラグを抜くこと

けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

食物をひく以外に使用しないこと  
ただしかたい豆や穀物等はひくことができません

ナイフ・プレート等の部品の破損や故障の原因となります。



禁止

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと

感電やショートして発火することがあります。



プラグを持って抜く

コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと

感電・ショート・発火の原因となります。



使用禁止

コードを傷付けたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、また重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしないこと

コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止

不安定なところでは使用しないこと。また、運転中に移動させないこと

けがの原因となります。



禁止

モーターボックスは平らなテーブルの上に置き、また後側と底部の空気穴をふさがないようにすること

火災・感電の原因となります。



禁止

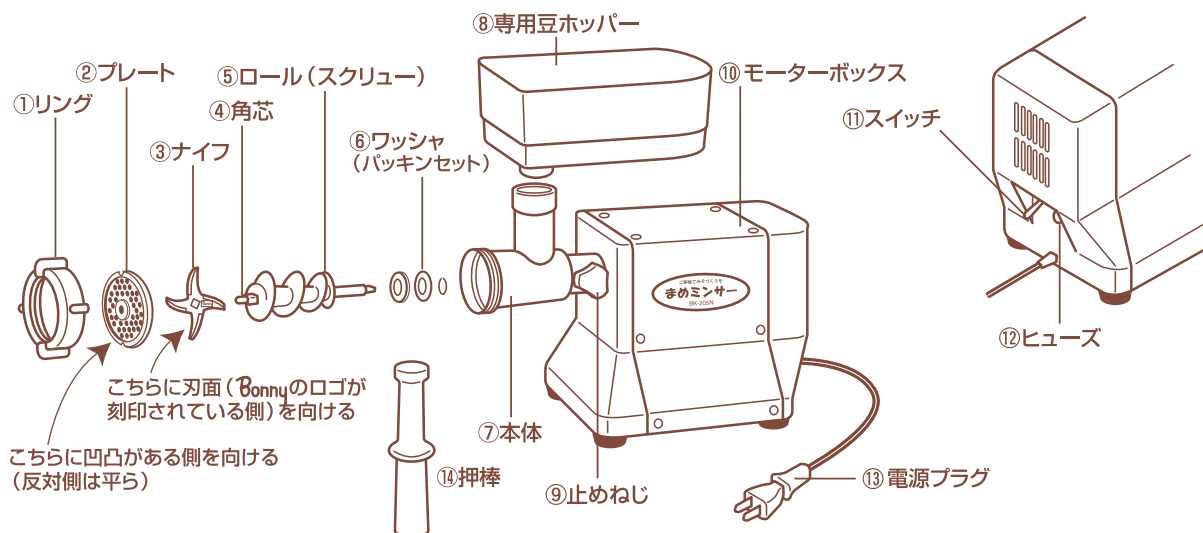
交流100V以外では使用しないこと。また、使用時以外は電源プラグをコンセントから抜くこと

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



プラグを抜く

# 各部のなまえ



※仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

## 仕様

形番	BK-205N	最大出力	200W (最大消費電力 400W)
外形寸法	幅170×奥行394×高さ375mm	定格時間	20分
重量	7kg	最大処理能力	みそ豆40kg/20分、肉魚30kg/20分
投入口の径	φ45mm	付属品	押棒
出口の径	φ65mm	オプションパーツ	ウイナーメーカー、各種プレート

# 上手にお使いいただくために

## ●お取り扱いにあたっての注意事項

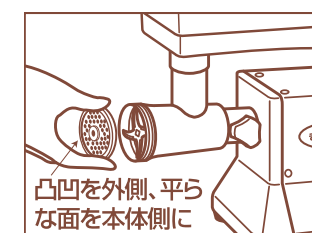
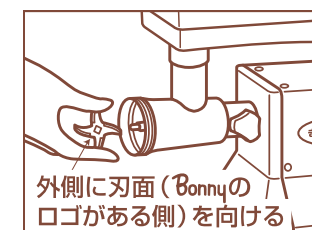
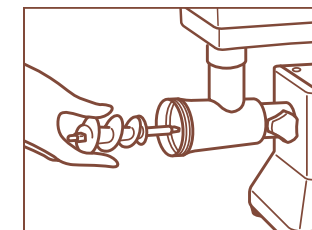
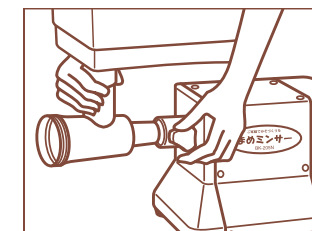
- 1 モーターボックスは平らなテーブルの上に置き、後側と底部の空気穴をふさがないようにしてください。
- 2 電源プラグを接続する時には、必ずスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。
- 3 もし固いものが入り、ロール（スクリュー）が止まってしまった時は、すぐスイッチを切ってください。
- 4 モーターボックスは絶対に水につけたり、水をかけないでください。
- 5 モーターボックスを清掃される時は、うすい洗剤液をしぼった布でふいてください。
- 6 本体部を組み立てたり、分解したりする時は、必ず電源プラグをコンセントより外しておこなってください。
- 7 食物をひく以外にご使用にならないでください。ナイフやプレートを破損させる恐れがあります。
- 8 絶対に本体の投入口や、プレートの穴に指を入れないでください。特にお子様にはご注意ください。
- 9 シンナーやベンジン・アルコール等をご使用にならないでください。
- 10 保管時は、湿度の高いところをさけてください。

# お使いになる前に

- 1 プレート・ナイフ・ロールを取り出す  
まずリングを回して、プレート・ナイフ・ロール（スクリュー）を取り出してください。
- 2 洗剤液で洗う  
次に、モーターボックス以外の各部品を温かい洗剤液でよく洗い、付着している防錆油を洗い流してください。
- 3 よく乾かす  
洗った後は、乾いた布でよくふいて乾かしてください。濡れたまま放置しないでください。※濡れたままにすることはサビの原因になります。

# セットのしかた

- 1 本体をモーターボックスに取り付ける  
まずモーターボックスの側部についている止めねじをゆるめます。次に、本体を図のようにモーターボックスの奥まで差し込みます。止めねじを時計方向に回してがたつきがないようにしっかり取り付けてください。
- 2 ロールを差し込む  
ロール（スクリュー）を軸の長い方から差し込み、モーターボックスのくぼみに合う位置まで回してください。
- 3 ナイフを取り付ける  
ナイフをロール（スクリュー）の先端についている角芯の角部に合わせてください。
- 4 プレートを取り付ける  
プレートのみぞ（切り欠部）を本体の回り止めに合わせてセットします [この時、ナイフの平らな面（「Bonny」の刻印がある面）を外側に、プレートの平らな面を本体側に向けます。ナイフとプレートの平らな面同士を合わせる形になります]。

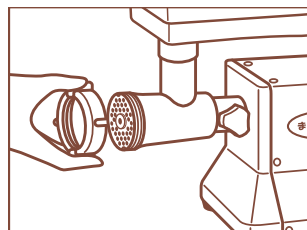


➡次ページに続く

## お使いになる前に (続き)

### 5 リングを締める

最後に、リングを軽くしめてください。

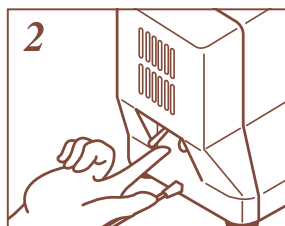


## 正しい使い方

### 1 コンセントを差し込む

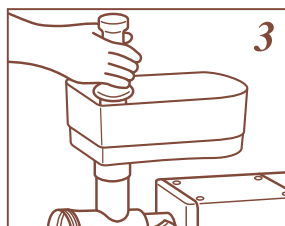
電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込みます。

### 2 スイッチを「ON」にする



### 3 材料を専用豆ホッパーに入れる

材料を上部の専用豆ホッパーに入れます。ほとんどの材料は、自動的にひくことができますが、押し込む場合は付属の押棒をお使いください。さらに細かくしたい時は一度ひいたものを再度投入してください(2度びき)。※付属の押棒以外の物(スプーン等)は使用しないでください。

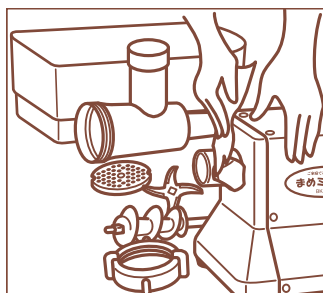


**POINT** このまめミンサーは、豆ばかりでなく、肉や魚、ゆでたジャガイモ等、いろいろな食物をひくことができます。※かたい豆や穀物はひくことができません。

## お手入れのしかた

●お手入れは必ずスイッチを「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いておこなってください。

**1** ご使用後は、モーターボックス以外の各部品を分解し、ぬるま湯の洗剤液で洗ってください。



**2** 洗った後は、乾いた布でよくふいて乾かし、少量のサラダ油をナイフとプレートに塗ってください。金属のサビの発生をおさえることができます。

**POINT** 各部品は乾かしてください。濡れたままにするとサビの原因になります。

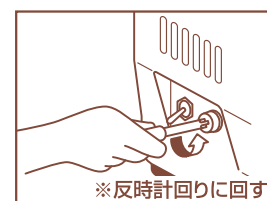


## 修理サービスを依頼する前に

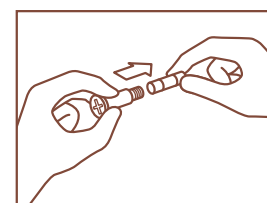
現象	原因	対策
スイッチを入れてもモーターが回らない	コンセントがきちんと差し込まれていない	コンセントをきちんと根本まで差し込む
	ヒューズが切れている	ヒューズを交換する(下記参照)
	コードが断線している スイッチが故障している	販売店または(株)ポニーにご相談ください
スイッチを入れてもモーターがうなって回らない	本体内に異物が入っている	スイッチを切ってリングをはずし、プレート・ナイフ・ロールのまわりの異物を取り除く
	硬いもの、凍ったもの、または一度に大量のものを入れすぎている	硬いもの、凍ったもの、一度に大量のものは入れない
	リングを極端に締めすぎている	リングをゆるめる
ロールは回っているが挽肉がきれいにでてこない	ナイフが逆に入っている	ナイフを正常にセットする
	ナイフおよびプレートの切れが悪い	ナイフ・プレートを研磨する。または新しいものと交換する
	スジ肉や小骨がナイフにからみついている	ナイフにからみついているものをきれいに取り除く
	ワッシャが破損、劣化している	ワッシャ(パッキンセット)を交換する(下記参照)
ロールは回っているが肉を引き込まない	プレートとナイフがきちんと密着していない	リングがゆるんでいるので締めつける
	角芯の角がなくなっている	角芯を交換する
	リングが締まっていない	リングのネジにカス等が溜まって、目詰まりしているためネジのミゾを掃除し、リングを締め付ける

※その他異常と思われたら、販売店または(株)ポニーにご相談ください。

### ■ヒューズ交換のしかた

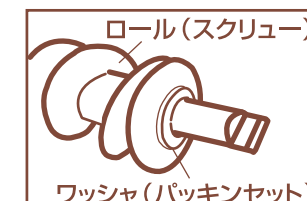


プラスのドライバーでヒューズケース(FUSE)を引き出す。



ヒューズケースからヒューズを外し、新しいヒューズを差し込む。元通りにヒューズケースを本体にねじ込んで完了です。

### ■ワッシャの劣化



ワッシャがロールにめり込んでいたり摩耗により劣化している場合は、交換する必要があります。(株)ポニーまでお問い合わせください。